

トレイル・オリエンテーリング大会 要項

発行日：2026 年 1 月 20 日（火）

～本大会のおすすめポイント～

- フォレストで本格的トレイルＯ…………精確な読図能力を競おう！
- 本大会のため特別に作成された地図…春インカレ参加の記念に！
- 国内初（？）の PreO sprint 大会…………迅速な判断が勝負のカギ！
- 春インカレモデルイベントから直結…限られた時間を有効活用！
- 個人戦獲得メダルは山川賞対象…………学校対抗のアツい戦いを！

はじめに

この大会は、学生に一定レベル以上のトレイルＯ競技を体験していただき、世界に通じるトレイルＯの競技者に育ってほしいという思いを込めて開催しています。そのためにまず、地図を精確に読み解くというトレイルＯ独特の競技の面白さを体感してほしいと思っています。

体力は重要ではなく、フットＯでは走り勝てなくとも、トレイルＯなら学生チャンプになれるかも！？男女別のクラス分けもなく、同じ条件で一緒に競技できます。

なお、個人戦の入賞者は 2025 年度の山川賞の対象になるほか、学校別の対抗戦も実施します。是非、この機会にトレイルＯに挑戦してください！

大会概要

名称 2025 年度インカレミドル・リレー協賛トレイル・オリエンテーリング大会

略称 インカレ協賛トレイルＯ / ICT2025

期日 2026 年 3 月 13 日（金）

会場 三重県伊賀市 上津地区市民センター

主催 ICT2025 実行委員会

大会役員

実行委員長 平山遼太（千葉 OLK/KOLA）

競技責任者 平山遼太（千葉 OLK/KOLA）

コース設定者 平山遼太（千葉 OLK/KOLA）

交通案内

会場周辺に駐車スペースはありません。会場及び周辺路上への駐車は固く禁じます。

インカレミドル・リレーのモデルイベントに参加する者は、そちらの案内に従って来場ください。

モデルイベントに参加しない者は、近鉄大阪線「伊賀上津」駅から徒歩で来場ください。駅から会場までの距離は 1.5km です。

競技情報（予定）

競技形式 トレイル・オリエンテーリング PreO sprint 競技（詳細後述）
使用地図 『青山高原 for ICT2025』（仮称）
ISOM2017-2 版『青山高原』を基に 2026 年作成
ISSprOM2019-2 準拠、縮尺 1:4000、等高線間隔 2.5m
テレイン 競技エリアはインカレミドル・リレーのモデルイベント範囲に隣接した森林であり、
インカレミドル・リレー立入禁止区域に含まれます。
競技時間 25 分～30 分程度
クラス A クラスのみ

表彰

表彰対象 「学連登録がされている事前申込者」のみが以下に示す表彰の対象となります。
個人表彰 A クラスの上位 3 名を表彰し、メダルを授与します。
学校対抗戦 A クラスの学校別上位 3 名の合計成績を集計し、学校単位の順位を決定します。
上位 3 校を表彰し、賞状を授与します。

スケジュール

競技時間帯 10:00～13:30（予定）
スタート 全選手フリースタートとします。
コースはインカレミドル・リレーのモデルイベントの帰路上に設定しています。
モデルイベントに参加する者は、各自の練習等を終えた後に適宜スタートできます。
モデルイベントに参加しない者に対しては、別途誘導経路を設定します。
表彰式 翌日のインカレミドル表彰式の直前に行います。

申込

申込方法 Japan-O-entrY よりお申し込みください。申込締切は 3 月 8 日（日）です。
申込 web ページ URL <https://japan-o-entry.com/event/view/2386>
備考 申込締切後のキャンセル及び当日欠席の場合、参加費の返金は行いません。
当日申込も受付予定ですが、受付可能数に限りがあり、表彰の対象外となります。

参加費

大学生・大学院生 1,000 円
高校生以下 500 円
その他一般 2,000 円

注意事項

参加者が自分自身に、あるいは第三者に与えた損害・事故等については、主催者は一切の責任を負いません。

問い合わせ先

実行委員長 平山遼太
E-mail ryota773★jt8.so-net.ne.jp (★→@)

競技形式について

トレイル・オリエンテーリング（トレイルO）は、与えられた課題を解くことで、地図と地形の照合の精確さや素早さを問う競技です。

本大会史上初の試みとして、PreO から新しく派生した PreO sprint と呼ばれる競技を実施します。これは今年度 IOF の公式な競技として採用されたばかりの種目です。

トレイルOでは、**移動経路は原則として車椅子が通行できる道に制限されます**。PreOでは、その区間を自ら移動してコントロールを回ります。コントロールが道上になければ、そこに直接行くことはできず、道から眺めて得られる情報を基に課題を解くことになります。

コントロール付近には右の写真やイラストのようにフラッグが設置されます。フラッグは、道上の DP (Decision Point) から見て、左から A、B、C…と呼ばれます。あるコントロールにおいて対象となるフラッグ数は、例えば4つの場合は位置説明表に「A-D」などと表記されます。

地図とコントロール位置説明を読み取って現地の地形と比較し、あるべき場所に設置された（正しい）フラッグを選びます。設置されたフラッグの中に正しいフラッグが無い、「Z：正解なし」の可能性もあります。

本大会で実施する PreO sprint では、全てのコントロールにおいて対象となるフラッグ数は1です。そのため、「対象となるフラッグが正しい位置にあるか、ないか」だけを判断します。検討するフラッグ数が少ない代わりに、制限時間は短く設定されます。

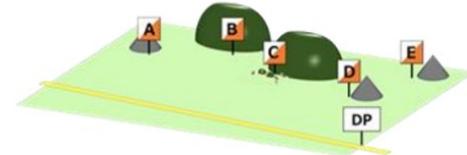
PreOと同様、正解したコントロールの数を特典としますが、同点の場合はコースの所要時間が短いほど優秀となります。精確性を必要としながら、より素早く解答することも求められる競技形式です。

通常の PreO では、同点の場合にタイムコントロール（TC）で勝敗を決します。指定の席に座り、移動せずに地図と現地を照合して正しいフラッグを選び、解答します。TCでは、解答に要した時間に加え、不正解ごとにペナルティタイムが発生します。TCだけを複数の場所で行う TempO という競技もあります。

本大会ではTCを設置しませんが、会場に無料のTC体験ブースを設置予定です。この機会にトレイルOの様々なスタイルを体験してください！



トレイルOの競技風景



フラッグ群のイメージイラスト



TCの競技者